

8 石油設備機器

【関連章第3章8】

事例2 「アルコールこんろ使用中に燃料を継ぎ足したため出火した火災」

出火時分 12月 21時ごろ
用途等 共同住宅 耐火造 5/0 延 1,700 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 カーペット及びこたつ布団若干焼損 負傷者1人
概要

この火災は、共同住宅の居室から出火したものです。

出火原因は、居住者の息子がアルコールこんろに火を点け火力の確認をしていたところ、火が大きくならないため、アルコールこんろの火を消さずに追加のアルコール燃料を入れた際に、気化したアルコールにこんろの火が引火し出火したものです。この時慌てた居住者の息子は、持っていたアルコール燃料をまき散らしたため、周囲のカーペット及びこたつ布団に燃え移り、近くにいた居住者の娘の足に着火したアルコールがかかり火傷を負いました。

居住者の息子は、アルコールこんろに継ぎ足しをした後に炎が燃え上がるのを発見しており、炎が周囲に燃え移ったことに気が付いた母親は、自宅の固定電話から119番通報をしています。

初期消火は、居住者の息子がアルコールこんろに蓋をして窒息消火し、母親はカーペット及びこたつ布団の炎を叩き消し初期消火に成功しました。

教訓等

この火災は、アルコールこんろ使用中に火を消さずにアルコール燃料を継ぎ足したことにより出火しています。裸火が近くにある状態で気化しやすい燃料等を不用意に使用することは大変危険です。また、アルコールの炎は見えにくいいため、アルコールに着火したのに気付かず、火災の発見が遅れる危険があります。石油設備機器を使用する際は、取扱説明書等をよく読み、正しい使用方法を守って使用することが大切です。



写真 8-3 アルコールこんろの使用状況（赤丸は焼損箇所）



写真 8-4 アルコールこんろの燃焼状況

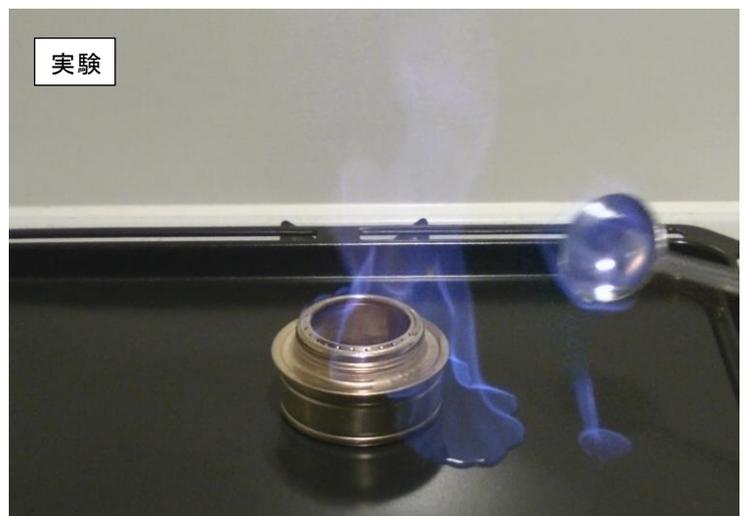


写真 8-5 使用中にアルコール燃料を入れた状況（追加燃料に燃え移りこぼれる）